



用語解説

五十音順とし、本文では*で表示。

ア行

アップツチャシ跡

寛文9年（1669年）シャクシャインの乱の際、沙流川アイヌの砦と考えられているチャシ。

IC【Inter Change】

高速道路や高規格幹線道路の出入口。

インターネット

世界的規模で電子メールやデータベースなどのサービスを行えるようにしたネットワークの集合体のことをいう。

ADSL【Asymmetric Digital Subscriber Line】

電話線を使い高速なデータ通信を行なう技術で、既存のアナログ電話回線の高周波数帯域を利用するxDSL技術の一種。

NPO【Non-Profit Organization】

政府・自治体や私企業とは独立した存在として、住民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。特定非営利活動法人。

カ行

協議団体

実質公債費比率（別掲）が18%以下の団体で、国または道の同意を得て地方債を発行できる。

行政改革アクションプラン

集中改革プラン（別掲）で示した目標・方針の早期実現に向けて具体的な行動指針を示したもの。

許可団体

実質公債費比率（別掲）が18%以上の団体のことで、公債費負担適正化計画を策定しなければならない。

経常収支比率

義務的性格の経常経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかを示し、財政構造の弾力性を測定する指標として用いられる。この比率が高くなる程、公共施設の整備など投資的な経費に充当する財源の余裕が少ない。

下水道事業達成率

整備区域内人口÷計画区域内人口で算出される。

(H18年度末10,437人÷10,597人)

コーホート変化率法

各コーホート（同じ1年間に生まれた同時出生集団）について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

公益的機能

水源の涵養や土砂流出の防止、二酸化炭素吸収など森林が持つ様々な働きのこと。

サ行

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標として用いられ、基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値で、過去3カ年の平均値を指す。1.00に近い団体ほど財源に余裕がある。

産業学習推進制度

日高町教育委員会と日高高校が連携・融合し、昼間は産業学習推進制度で活動、夜間は高等学校で学び、健全な青少年の育成と幅広い分野で活躍できる人材の育成をめざし、平成2年度から実施している制度。

三大生活習慣病

がん、脳卒中、心臓病のこと。

三位一体改革

「国庫支出金の削減」「地方への税源移譲」「地方交付税の見直し」の3つを実施する改革のことで、地方財政の自立を促すことを目的としている。

JRA【Japan Racing Association】

日本中央競馬会。

ジェンダー

文法用語で文法上の「性」を指し、「社会的・文化的に形成された性」のこと。

実質公債費比率

町全体の公債費（借金）の割合。

集中改革プラン

行政改革の重点項目等の取り組みを集中的に実施するため、計画期間における行政改革の具体的な取り組みを明示し、その進行管理を行うためのもの



の。

浄化センター

家庭等からの雑排水及びし尿等の汚水を浄化・処理して放流する施設。町内に日高・富川・門別本町・厚賀の4施設がある。

生涯学習

一人ひとりの自由な意志に基づき、それぞれにあった方法で障害にわたって学習していくこと。

水洗化率

水洗化人口÷整備区域内人口で算出される。(H18年末9,081人÷10,437人)

ストック総合活用計画

住宅マスタープランの一部として位置づけられている計画で、この計画に基づいて町営住宅の改善、更新を行うこととしている。

3R (スリーアール)

Reduce (ごみを根本から減らす)、Reuse (物を大切に使い続ける)、Recycle (資源として再活用する)の3つの行動を表す言葉。

セカンドハウス

別荘や別宅。

全国瞬時警報システム

自然災害(地震・津波や気象災害)に関する警報や武力攻撃の警報を市町村防災行政無線を用いて住民に瞬時かつ一斉に伝達するシステム。

ソフト

機器類を用いて行う物事や情報・理論、活動など無形のもの。

夕行

地域スポーツクラブ

地域の誰もが年齢、興味関心や技術・技能に応じ、初心者から競技志向のまでを対象として地域住民が自主的に運営するスポーツクラブ。

地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう介護サービスをはじめ、福祉、医療など高齢者を支える総合相談窓口として設置された機関。

特定健診

高齢者の医療者の確保に関する法律で定められた検診で、医療保険者が40～74歳の被保険者、被扶養者を対象に実施する健診。(本町では日高町国民健康保険が保健医療者にあたる)

特別支援教育

これまでの心身障害者教育の対象だけでなく、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥、多動性障害)、高機能自閉症を含め、障害のある児童生徒に対して適切な教育や指導を通じて、必要な支援を行うこと。

ナ行

ノーマライゼーション

障害者と健常者はお互いが特別に区別されることなく、社会生活をともにすることが正常であり、本来望ましい姿であるとする考え方。

ハ行

ハード

機械設備や機器など有形のもの。

HARP構想 (ハーブ構想)【Harmonized Applications Relational Platform】

インターネット技術などを取り入れるとともにシステム連携のルールを統一することによって多様なシステムの連携を容易に行えるようにし、電子自治体の実現に必要な各種システムのプラットフォーム(共通基盤)を、道と市町村が共同で構築し利用することにより、将来にわたって効率的・効果的に電子自治体化を推進しようとする北海道独自の取り組み。

バイオエタノール

家畜ふん尿、稲わら、食品廃棄物、林地残材などの再生可能な生物由来の有機性資源の糖質を発酵させることにより醸造したアルコール。



HACCP（ハサップ）【Hazard Analysis and Critical Control Point】

製造における重要な工程を連続的に監視することによって、製品の安全性を保証しようとする食品衛生管理手法。

パブリックコメント

行政の政策立案過程で住民の意見を募る制度（意見公募手続）。行政が実施しようとする政策について、あらかじめ意見を募り、それを意思決定に反映することを目的としている。

PFI【Private Finance Initiative】

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、運営能力及び技術能力を活用し、効率的・効果的に公共サービスを提供すること。

PDCAサイクル

Plan（立案）→Do（執行）→Check（検証・評価）→Action（見直し・改善）による継続的な事務事業の改善を行うこと。

日高地域審議会

合併時に旧町単位で設置される組織で、合併協議の結果、日高地域に設置された。合併から10年間設置され、町長からの諮問に応じて審議を行い答申する機関。なお、門別地域には設置されていない。

北海道横断自動車道

道央と道東を結ぶ高速道路で、現在、道東自動車道として千歳東～夕張間とトマム～足寄・本別間が開通している。

ボランティア

自主的に社会事業などに参加し、奉仕活動をする人。

マ行

メディア

新聞や雑誌、テレビ、ラジオなどの媒体のことをいう。

メタボリックシンドローム

内臓脂肪型肥満によって、様々な病気が引き起こされやすくなった状態のこと

門別富仁家墳墓群

沙流川左岸約1km（通称：富仁家）の標高50m余の舌状台地に存在する遺跡で、縄文文化終末期より続縄文期にいたる時期の墳墓遺跡。

ヤ行

有収率

供給した配水量対し料金徴収の対象となった水の割合で、水道事業の効率性を図る指標の一つ。

幼保一体化

幼稚園・保育所が同一敷地内にあり、現行の法令制度の基で、職員の交流や幼児の交流、施設の相互活用など、教育的観点から幼児の教育・保育を進めていくこと。

ラ行

ライフサイクル

乳幼児期、児童期、青年期、壮年初期、中年期、老年期までの6つの発達期のこと。



諮問書

日企企発第 213 号
平成 18 年 10 月 4 日

日高町まちづくり審議会会長 様

日高町長 三 輪 茂

日高町総合振興計画、町民憲章及び町のシンボルについて（諮問）

新しい日高町の今後のまちづくりに向けた振興と町民福祉の向上、自主・自立、協働によるまちづくりを進めるための日高町総合振興計画の策定にあたり、その基本的な構想と計画、また、新しい日高町の町民憲章及び町のシンボルについて諮問します。

記

- 1 基本構想
平成 20 年度を初年度とし平成 29 年度を目標年度とする基本的な構想の策定
- 2 基本計画
基本構想に基づく基本計画の樹立
- 3 町民憲章
町民が暮らしていくうえで、忘れてはならない大切な目標となる町民憲章の立案
- 4 町のシンボル
町木、町花など、町のシンボルの選定

【企画商工課 企画調整係】



答申書

答 申 書

平成19年11月14日

日高町長 三 輪 茂 様

日高町まちづくり審議会会長 金 澤 清 吉

日高町総合振興計画基本構想及び基本計画について(答申)

日高町まちづくり審議会条例(平成18年6月27日条例第245号)第2条の規定に基づき、平成18年10月4日付けで訪問のありました日高町総合振興計画の基本構想及び基本計画の立案について、慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり答申します。

なお、計画の推進にあたっては、当審議会の審議内容を十分尊重し、反映するとともに、下記の事項に留意されるよう要望します。

記

1 町の活性化に向けた新たな取り組み

道路の整備によりアクセス環境が良くなった反面、近郊市町への購買力の流出など、市街地の活気が失われており、今後も市街地の空洞化が進む事が予想されます。ホッカイドウ競馬の本場が門別競馬場になることを好機と捉え、町をはじめ商工会・農協・漁協が一体となった町の活性化に向けて努力する必要があります。各産業団体やまちづくりに関連する様々な分野の関係者、専門家を構成委員とした検討委員会の設置、インターネットの積極的な活用などにより町の活性化に努められたい。

2 地域間バスの効率的な運行

本格的な少子高齢化社会の到来に対応するため、スクールバスや民間バス、とねっこバス、地域循環バスなどの運行方法について、経済的で利便性の良い運行方法を検討し、町民が安心して生活できる環境づくりに努められたい。

※別紙については掲載を省略します。



日高町総合振興計画の策定経過

平成18年10月4日	第1回日高町まちづくり審議会開催
10月25日	まちづくりアンケートの実施（11/15まで）
平成19年1月31日	第1回総務分科会開催（町民憲章、町木・町花）
2月8日	町民憲章ワーキング
2月23日	第2回総務分科会開催（町民憲章、町木・町花）
3月1日	まちづくりアンケート結果の報告（3月広報にて概要の公表）
4月12日	第3回総務分科会開催（町民憲章）
4月27日	第4回総務分科会開催（町木・町花）
5月28日	第2回日高町まちづくり審議会開催（町民憲章、町木・町花）
5月31日	答申（町民憲章、町木・町花）
6月15日	議決（町民憲章、町木・町花）
6月22日	基本計画副町長ヒアリングの実施
7月9日	基本計画町長ヒアリングの実施
8月21日	第3回日高町まちづくり審議会開催
8月24日	第1回産業分科会開催
8月29日	第1回民生分科会開催
8月30日	第5回総務分科会開催
9月12日	第2回産業分科会開催
9月12日	第6回総務分科会開催
9月13日	第2回民生分科会開催
9月26日	第7回総務分科会開催
10月4日	第3回産業分科会開催
10月5日	第3回民生分科会開催
10月30日	第4回日高町まちづくり審議会開催
11月14日	答申
12月19日	住民説明会の開催（3/9まで）
平成20年1月15日	パブリックコメントの実施（2/15まで）
3月10日	第1回定例議会において議決

別掲（日高地域審議会）

平成19年10月1日	諮問
10月26日	日高地域審議会開催
11月9日	日高地域審議会開催
11月21日	答申



日高町まちづくり審議会委員名簿

分科会		氏名	所属団体及び役職
総務分科会	会長	かな ざわ せい きち 金 澤 清 吉	日高町観光協会会長
	総務分科会長	にし お 尾 ただし 西 尾 正	日高地域審議会会長
	副分科会長	あら い ゆう こ 荒 井 裕 子	門別町農業協同組合女性部部长
		よね ざわ まり 米 澤 まり	日高町教育委員会委員長
		しげ の しゅん じ 茂 野 俊 二	日高町体育協会会長
		やす だ あき よし 安 田 秋 義	日高町文化協会会長
		こん の しん じ 今 野 真 司	日高町校長会会長
		かね こ とし あき 金 子 年 明	ひだか漁業協同組合門別支所青年部部长
		いま い きぬ え 今 井 絹 恵	日高町商工会女性部筆頭副部长
		もち つき あきら 望 月 章	日高町商工会青年部部长
民生分科会	副会長	はま もと まさ くに 濱 本 雅 洲	日高町自治会連絡協議会会長
	民生分科会長	やま わき しゅう へい 山 脇 脩 平	富川自治区連合会会長
	副分科会長	たか やなぎ くみ こ 高 柳 久美子	託児サービスホットタイム代表
		お の だら たみ や 小野 寺 民 弥	門別本町連合町内会会長
		あい つぼ たけ お 合 坪 猛 夫	日高町日高地区自治会連絡協議会会長
		は せ べ せい よし 長谷部 静 好	日高町社会福祉協議会会長
		こ にし よう こ 小 西 洋 子	日高婦人会副会長
		つち だ かず こ 土 田 和 子	日高町ボランティア連絡協議会会長
		しょう の せい こ 庄 野 征 子	保健推進員協議会会長
産業分科会	副会長	た なか たて お 田 中 建 夫	日高町商工会会長
	産業分科会長	なべ たに せい しょう 鍋 谷 靖 昇	門別町農業協同組合代表理事組合長
	副分科会長	かじ かわ ひろし 梶 川 博	ひだか漁業協同組合副組合長
		い とう ゆき ひろ 伊 藤 幸 寛	富川農業協同組合代表理事組合長
		ふく もと けん じ 福 本 賢 治	平取町農業協同組合理事
		さき もり しげ お 笹 盛 茂 男	沙流川森林組合副組合長
		おき た まさ こ 沖 田 方 子	富川農業協同組合女性部部长
		ほう り あつ お 法 理 敦 夫	日高軽種馬農業協同組合青年部部长
		ほり え いく こ 堀 江 育 子	日高町商工会女性部部长

※順不同

